

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

学力向上検討委員会構成

飯尾敷地小学校
「学力向上実行プラン」

- PBSの考え方を取り入れ、「わかった・できた・楽しい」授業で、意欲と自信を高め、主体的に学ぶ態度を育てる。
- 規律ある学習活動を行い、家庭と連携して学習習慣の定着を図る。

校長
重本 浩孝

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(めざす子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字や計算のミニテストの実施で、読み書き計算の基礎的・基本的な力が身に付いてきている。 ●学力の個人差が大きく、学習内容の定着に時間がかかる児童がいる。語彙力や書く力に課題がある。	・各学年で学習する漢字や計算を身に付けることができる。 ・語彙を増やし、学んだことや自分の考えを文章に書くことができる。	・ICT 機器や復習プリントを活用し、既習内容を繰り返し復習する機会を設ける。 ・書く力を高めるために、5WIHを意識させた日記指導や自分の考えを書く活動を行う。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(めざす子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○話し合い活動や友達との活動を楽しみと捉える児童が多い。調べ学習等に意欲的に取り組む児童が増えた。 ●聞くことが苦手で、理解が不十分であるため、じっくりと思考・判断したりすることに課題がある。身に付けた知識や技能を活用して自分の考えを伝えることが苦手である。	・今まで学習したことや身に付けた技能を活用して、自分の考えをまとめることができる。 ・自分の思いや考えを表現したり深めたりすることができる。	・ICT やホワイトボードを活用し、児童が自分の考えを表現できるよう、積極的に授業改善を行う。 ・各教科の単元ごとに授業の振り返りを行い、自分の考えをまとめられるようにする。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(めざす子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習課題に真面目に取り組むことができる。自主学習の内容が深まり、学習意欲の向上につながっている。 ●自ら進んで課題を見つけることや、難しい課題に粘り強く取り組むことに課題がある。家庭ではゲームやメディアなどの付き合い方に問題のある児童もいる。	・学習規律を守り、自ら進んで学習に取り組むことができる。 ・取り組む内容を自分で決めて、自主学習をすることができる。	・PBSの手法を生かし、望ましい態度の習慣化を図る。 ・自主学習の手引きを配布して家庭へ啓発するとともに、自主学習ノートを互いに見合う機会を設け、意欲を持続させる。			

令和6年度 学力向上ロードマップ

